



トマトの収穫が20%増

県農業試験場(貴志川町高尾)では、木炭を利用した土壌改良の研究が進行中です。
もともと、鉢植えなどの土に木炭を混ぜると苗木がよく育つことは知られていました。試験場では、この木炭がもつ土壌改良の性質に着目、木炭を使って作物栽培の試験を行ってきました。

土中に混ぜられた木炭は、養分を排出したり、植物の生育に必要な良性の微生物を増殖させたりしながら、土壌を改良していきます。

試験の結果、トマトの収穫が20%の増、イチゴも8割の増と、まずまずの良好な成果が見られ、今年度からはダイコンなど露地栽培の作物についても、試験を行っていく予定です。



現在進行中のエンドウの栽培試験

また、今までの試験では、ナラ、ブナなど広葉樹の木炭が使われましたが、今後は、使い道が少ないスギやヒノキの間伐材を対象に試験を続け、未利用林業資源の有効利用の道を探ります。

▼河川浄化に一役

南部川村では、間伐材の木炭を使って河川浄化に取り組んでいます。昨年の夏、村内二か所の家庭排水の流れる溝に、木炭を詰めたる過器

備長炭のふる里では...

紀州備長炭の生産地として全国に知られる南部川村。木炭活用の話題はここでも盛んです。

をセット。ろ過後の水質を分析したところ透明度が約一・七倍に、化学物質も減少するなど、明らかに木炭に浄化効果があることが分かりました。

しかし、木炭は目づまりが激しく交換を頻繁に行わなければならないこと、浮遊物の除去など、ろ過器の改良をしなければ実用面ではまだ問題もあります。「実用化は先のこととしても、この実験を契機に環境意識が広がれば……」と担当職員。村では、今後も実験とともに改良を加えていく予定です。

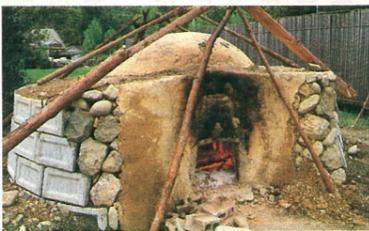
新木炭 活用術

間伐材で木炭づくり

県山村産業試験場(古座川町直見)では、新しく炭焼き窯を製作。間伐材から良質の木炭を産み出そうと、試験研究用につくられたものです。

間伐材は、建設工事現場の足場や杭、観光用の手作り産品などに消費される程度でこのままでは林業経営者の生産意識、間伐の意欲にも影響が出るとして、間伐材の製炭技術開発に乗り出しました。

間伐材による低コストでの製炭技術が確立すれば、林業面では資源の有効活用、農業面では、その木炭を利用した生産技術の振興が期待され山村での林業、農業両面の活性化をめざします。



新しく製作された炭焼き窯

木炭が見直されています。土壌の活性、水の浄化、木酢液の抽出など、燃料以外の幅広い使い道が注目されています。和歌山県の山林面積は総面積の約七割。木の国和歌山にとって、木炭の新しい可能性には力が入ります。各地ですすむ、木炭新活用へのいくつかの取り組みを追ってみました。

▼意外な副産物、木酢液

木炭をつくる際、窯から出る煙とともに抽出される木酢液。酸っぱさと煙たさが混ざったような臭いの褐色の液体です。

南部川村森林組合では、木酢液がもつ消臭、防腐、忌避(虫、小動物が嫌う)効果に着目し、この効果を家庭で役立ててもらおうと製品化を始めました。

その名も「ピンチョーゲン」。家庭の生ゴミやトイレの臭い消し、ムカデなどの虫の駆除に使用できます。

昨年6月の販売開始以来、売れゆきは好調。京阪神地方からの注文も多く、これまで約5千ケースが販売されています。

森林組合では、この木炭の副産物の成功が、紀州備長炭自体の振興にも役立つことと期待しています。

(南部川村森林組合 ☎(0739) 76-2119)



木酢液の抽出作業

分ければ資源 は環境月間です

「地球が危ない」近頃よくいわれます。オゾン層の破壊、地球の温暖化現象、酸性雨による緑の減少等々……

私たちは自然を糧として、自然を利用することによって、毎日の暮らしを豊かにしてきました。しかし、もっと豊かな生活をしたという私たちの行いが時には恵みのもとになっている地球(自然)を少しずつむしばんでいるようです。「ゴミ問題」もその一つ。生活するうえで必ず出るものとはいえ、より快適で便利な生活を求めるあまり、気がつけば処理に困るほどのゴミの山が生まれてしまいました。今月はこの増え続けるゴミの問題について一緒に考えてみてください。

身近なゴミの ダイエツト

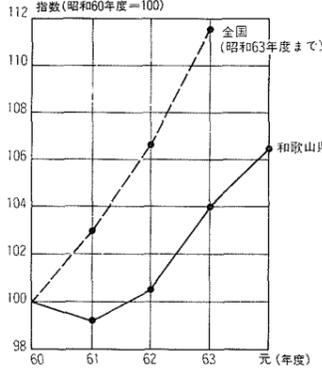
■分別収集にご協力を
分別収集とはゴミ処理を効率的に行うために多くの市町村で採用されている方法です。①燃えるゴミ、②燃えないゴミ、③粗大ゴミ、④特殊ゴミ、この中

一方で現在、県内には焼却場が三十施設(処理能力、一日千八百五十七ト)、最終の埋立処分場は三十二施設(残余容量百八十九万五千立方ト)あります。一部を除いてさしせまった状況には至っていませんが、決して余裕のあるものとはいえません。しかも市町村が行うこうした施設の建設や確保は年々難しくなるばかりです。「ゴミを減らす」という大きな難題に立ちむかうには行政側の取り組みとともに私たち一人ひとりの参加と協力が何より大切になっています。

「紙類」不用になった新聞や雑誌などの古紙は、再びパルプ(紙の原料)として利用されます。例えば、新聞を例にとっても一般家庭の新聞(一年分)をゴミとして処理した場合、約千七百円の費用がかかりますが再生紙として利用した場合、一本半の立木(直径十四センチ、高さ八メートル)

ちよつと驚き! リサイクルの効果

私たちのちよつとした心づかいでよみがえる資源の数々。その効果は次のように想像以上です。
〔紙類〕不用になった新聞や雑誌などの古紙は、再びパルプ(紙の原料)として利用されます。例えば、新聞を例にとっても一般家庭の新聞(一年分)をゴミとして処理した場合、約千七百円の費用がかかりますが再生紙として利用した場合、一本半の立木(直径十四センチ、高さ八メートル)



ゴミの総排出量の推移(指数)

増え続ける 家庭ゴミ

現在、日本全国の家庭から出されるゴミの量は一日に約十三万二千ト、年間で四千八百二十万トにのぼっています。驚くことにこれは東京ドームの約百三十杯に相当します。(和歌山県分は四十二万ト、一・一杯分)この数字から私達は赤ん坊も含めて一人あたり一日約一ポグラム、年間で三百八十一ポグラムものゴミを捨てている計算になります。

しかもゴミは最近増え続け、毎年三〜四割の割合で増えています。県内でも五十年代はほぼ横ばいの状態でしたが昭和六十二年度から確実に増加傾向にあります。なぜ、ゴミが増えているのでしょうか。それはいくつかの原因が指摘されています。

- ①いわゆる使い捨て文化によって、まだまだ使えるものが資源として再生されずにゴミとして捨てられてしまう。
- ②事務所のオフィス・オートメーション化によってコピー用紙などが多量に排出される。
- ③生活様式の変化に伴って、プラスチックなどの使い捨て容器がはらんでいく。
- ④円高などの影響で、紙などの輸入品が安くなり、ゴミの資源化が進まなくなったことなどがいわれています。

一人年間約九千円

排出されたゴミを適正に処理、処分することはとても重要な問題です。ところがこうしたゴミ

1回「ゴミ減量化促進対策全国大会」



の処理費用は国全体で一年間に一兆一千億円に達しています。つまり単純に計算して一人あたり年間約八千九百円をゴミ処理のために負担していることになりました。また大都市部などでは、ここ二〜三年で埋立地が満杯になるほど処理能力の限界が強く叫ばれるようになってきました。こうした危機感から昨年末、和歌山市で第一回の「ゴミ減量化促進全国大会」が開催されました。この大会には全国から約千五百人が参加、ゴミ問題について多岐にわたる真剣な議論が交わされました。

のいくつかを組みあわせる方法が一般的ですが、燃えないゴミを燃やすことにより焼却効率が低下するだけでなく、焼却炉を痛めたり、また仮に燃えないゴミを事前に見つけたとしても、それを他の施設に運ぶには相当地な経費が必要になってきます。

■考え直そう ライフスタイル

ゴミを減らすうえで基本的なことはゴミになるものを家に持ちこまないことです。デパートやスーパーなどの過剰包装などをできるだけ少なくしてもらって、減らせるところで減らしていきたいものです。

リサイクルのすすめ

私たちが毎日出すゴミの中には資源として再利用できるものが少なくありません。リサイクル運動をすすめることはゴミの減量化に役立つだけでなく、資源を大切にすることを育て、地域のコミュニケーションを育てるなどの効用があります。自治会や子供会などの団体が古紙や布類、金属類などの有効資源を収集して、回収業者などに買ってもらう「集団回収」や市町村などが実施している「不用品の交換会」などももっと活用したいものです。

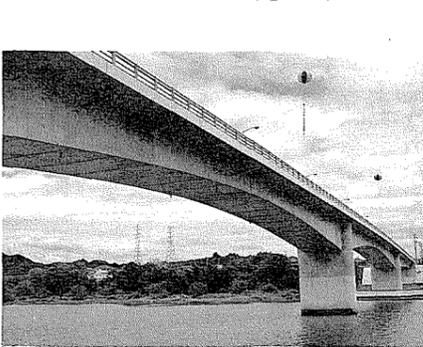
紀の川河口をひとまたぎ



全長約十六キロのうち、現在八七割の整備が完了しています。この広域農道の一部となる「御坊大橋」が、このたび完成しました。天田橋(国道四二号)の上流約一キロにかけられた延長四百八十メートルの大橋です。御坊大橋は、広域農道としての役目以外に、日頃渋滞しがちな天田橋付近のバイパスとしての機能を果たすとともに、日高地方の方々の生活道路としても役立つこととなります。

紀の川に新しい橋が姿を現わし始めています。紀の川河口大橋。大きな河口をひとまたぎに、和歌山市湊地区と青岸地区を結びます。紀の川河口大橋は、北は県道と和歌山港北島線、南は青岸橋に連結。橋の完成によって、和歌浦から臨港道路、紀の川をまたいで国道二十六号へとつながり、産業道路として、また市街地の渋滞を緩和するバイパス路線と

日高川に新橋誕生



農産物の流通をよくしようとして、日高町から印南町にかけての工事が進む日高地区広域農道整備。

環境月間記念行事

6月1日〜30日までの1か月を「環境月間」として、県民の皆さんに環境問題に対する理解と認識を深めてもらうために、次のようなイベントを実施します。(参加無料)

〔環境月間記念シンポジウム〕
日時 6月11日午後1時30分〜午後5時
場所 和歌山地域地場産業振興センター(和歌山市紀三井寺)
内容 盛岡 通(大阪大学工学部助教授)氏の講演及び環境保全活動者の事例発表

〔わかやま環境フェア〕
日時・場所 6月11日午後1時〜6月12

午後4時 和歌山地域地場産業振興センター(和歌山市)
6月25日午前9時〜午後4時 紀南文化会館(田辺市)
内容 エコマーク商品、紀の国の名水、低公害車の展示
牛乳パックから紙すき、廃油から石けんの作り方解説
パソコンによる環境ゲーム、環境保全啓発ビデオの上映等

くわしくは県庁環境調整課へ

混ぜればゴミ、6月1日~30日

町ぐるみで独自のリサイクル運動



ゴミ問題で悩む多くの市町村の中で、先進地といえるのが白浜町です。同町の生活学校が美しい観光地づくりをめざして、名勝地などで清掃活動を開始したのが昭和五十一年のことでした。そのうち「このまま廃棄処分にするのはもったいない。何とか利用できないものか」という声が続出し、今ではほぼ全町にわたって「白浜方式」といわ

れる積極的なリサイクル活動を展開しています。生活学校が中心になって始めたこの方法は通常のゴミは従来どおり出しますが、古紙や空き缶などの資源ゴミは月一回、みんなで指定の場所に持ちよります。それをビン、缶等に選別して、酒店や再生業者等に引きとってもらい、代金は町内会に還元するというものです。

また土地のある家庭には生ゴミを肥料化する容器をあっせんしたり、一回五グラム以上のゴミを出す事業所では例えば業者委託などをして自らの責任でゴミ処理することになっています。

更に今年からユニークな「ゴミ説法者」制度がスタートします。これは住民の中からゴミ問題について詳しい人を募集し、広く啓発活動を行ってもらおうというもので住民や業者、町が一体となってゴミを取り組んでいます。



焼却場で処分されるゴミの山

資源としてよみがえるアルミ缶

ワカヤマクリーンアップ 作戦展開中



県内の観光地や公園に投げ捨てられた空き缶などのゴミをなんとかしようという県内在住の外国人の方も動き出しました。四月二十一日、和歌山市の北島橋下流で行われた「グリーンアップ ワカヤマ」。これは県民と県内在住の外国人が交流を深めながら環境問題について関心を高めようという開かれたものです。和歌山県国際交流協会などの呼びかけにこの日は外国人

三十人を含む百二十人が参加。ゴミ袋をかたわらに空き缶や紙くずなどを拾い集めました。運動の中心、県の国際交流員アサト・ラニさん(アメリカ)は「自分たちの住んでいるところだから自分たちできれいにしたい。前回(和歌山市和歌浦)に比べ参加者も増えているのでこの運動が県内各地に広がってくれたら」と期待を寄せています。

笑顔で紀州をPR



全国各地で行われるイベントなどに参加して、県内の観光地をPRする「ふれ愛紀州路」キャンペーンが決まりました。前列右から 岩崎 洋子(25) 広川町

身体障害者の差別

有田市文成中 一年 田中 宣子

私には兄がいました。兄は、身体障害者でした。車いすにのっていたし、言葉も上手に話せません。でも、私は兄が好きでした。

みんなは身体障害者の人がいると、その人の方に目がいてしまい、こそそこそその人の方を見ながら話します。どうしてなんだろうと私は思います。私には、生まれた時から障害者を持った兄がいて、兄がいた養護学校にも障害者を持った人がたくさんいて、そこに何人かの友達もいました。こんな言い方したらへんだけど、私は障害者に慣れているから、別に障害者の人をけいべつした目で見たりしません。でも心の中で、「あの、障害者だ...」

と、思ってしまうんです。でも、障害者であることをあまり知らない人達は、もっといろんなことを思うと思います。

私達、健康な人間は、自分で何でもできるし、勉強も遊ぶこともできます。でも障害者の人達は、あまりそんなことはできません。私は勉強が好きではありませんが、いろいろ覚えなくてはいけないし、テストもあるし...。でも、障害者の人達は、勉強をしたくてもできません。養護学校にも別に学校という所がありました。でも私達の学校とちがいます。養護学校の学校は、おもちゃがあり、それでみんなはあそぶのです。それとか、そこで誕生会をしたり...、ただそれだけの学校です。ただそれだけの授業です。それでも兄は学校へ行く時はとてもうれしそうです。

養護学校で私に友達ができました。...といっても兄の方が親しいと思えますが...。めんかい日になるとよくその子を見かけます。いつもパズルやお紙をします。私は、あまりパズルをしなかつたけど、その子はいつも、陽がよくあたる所にすわって、パズルをしていました。30ピースの犬や、50ピースのミッキーマウスなど、いつもくるたびに、パズルがながりました。私にその子に「これ自分でしたん?」

と聞くと、その子はうんとうなずきます。「私もやっていい?」

またうんとうなずいて私にパズルをやらせてくれます。そしてよく二人でパズルをしました。パズルが完成した時は二人であく手して「できたネ!」

私には、その子に会って初めて、障害者の人ってこんなことも上手にできるんだなあと感じました。

た。そう思うのは、自分より、なにもできない人がたくさんいると思っていたことになる。と思った時は、すっごくはずかしかったです。

私は、障害者の方は、私達のいってることやしていることがあまりわからないと思っていました。でも、きちんとわかってきます。兄の仲良しの子が亡くなりました。兄と同じ歳だったと思います。その子が亡くなって、学校から出ていく時、兄は真剣な目でその子を遠くから見送っていました。その顔には、さみしさ、悲しみなどがこめられていました。でも、私には、いかりもこめられていた気がします。私に母は、

「よっちゃん、和ちゃんが死んだってわかるんやなあ...。」と、さみしくいったのを、今でも覚えています。その時は、兄に何か教えられたような気がしました。

それから兄は、私が小学校四年生の時に亡くなりました。私にとっての兄は、ふつうの人間より、ふつうの大人よりすばらしい兄だったと思います。私は兄にいろんなことを学んだような気がします。障害者だからといって、何もわかっていないと思っている人たちは、もう一度きちんと障害者の人たちのことを考え直してほしいです。障害者の人だって立派な人間です。私達と同じ人間なんです。そこをわかってほしいです。障害者の人達をけいべつした目で見たり、じゃま者あつかいした人達も、それはまちがっていると思います。私達は、生まれた時から平等な人だから、障害者というだけで、私達より低い身分みたいな目で見ないでほしいです。

私は思います。兄は私の心の中で、一生、生き続けてくれるでしょう...。

後藤 恵理河(23) 和歌山市 関根 万穂(20) 和歌山市 後列同 山口 智世(18) 和歌山市 武藤 淑子(21) 和歌山市 蓮尾 理香(20) 橋本市 永井 公恵(20) 打田町 県では今年の夏から「海」をテーマに大規模な観光キャンペーンを行っていきます。若さと笑顔で紀州路のイメージアップに頑張ってください。

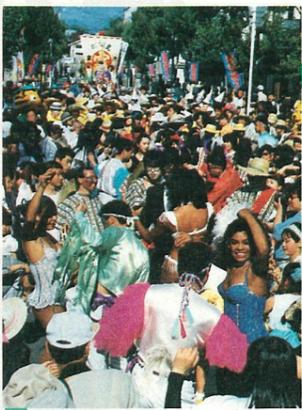
紀北地方

国際交流&サマーカーニバル

〔海南市〕

関西国際空港の開港など、押しよせる国際化の波に対応しようと動き出したのが海南市です。基金の運用益をもとにホームステイの受け入れ、青少年の海外体験学習への助成、国際化にむけてのシンポジウムの開催など内容も盛りだくさん。

また住民参加のイベントを通して、地域の連帯感を高めようとして行われているサマーカーニバルに本場ブラジルからサンバチームも参加、千人が祭りに酔いしれました。



「タルの村」が出現

〔花園村〕

ずらりと一列に並んだお化けきのこ。実はこれが花園村に誕生した「タルの村」です。

このユニークなタルの村は大きなしよ油ダル十二個に屋根をつけ、内装工事を行ったもので、休憩所や宿泊所としても利用できます。

また近くには、昭和二十八年県下を襲った大水害の資料を収めた水害記念館やアスレチック広場も整備されています。

ビデオでふるさとPR

〔貴志川町〕

町民にふるさとを再発見してもらおうと貴志川町のふるさとビデオ「マイ・ラブリー・タウン 貴志川」が完成しました。「紀州の飛鳥」といわれる町の古い歴史や伝説、ホテル観賞、イチゴ狩り等の自然や産業、また町が積極的に進めている生涯学習への取り組みなどをマスコミで取り上げる「ホタテくん」が愉快に案内しています。貸し出しや販売も実施中。

生石高原にレストハウス

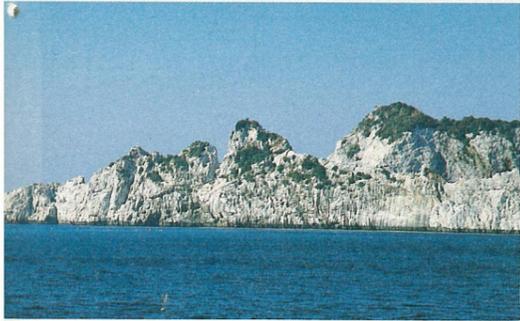
〔野上町〕

標高八七〇呎。一面に広がる大草原から壮観な景色が楽しめる生石高原はキャンプやハイキングに絶好の地です。地元の野上町では、年間五万人にのぼる観光客のためにレストハウスを建設しました。ハウス内には、簡単な食事ができる喫茶コーナーやふるさと産品などの物産コーナーなどが設けられ、オープン以来人気も上々とのことです。



和歌山市	橋本市	下津町	美里町	打田町	粉河町
市の中心部、買物客でにぎわう京橋に憩いの広場やプロムナード(散歩道)を整備	子供たちに人気の杉村公園にコンビネーショントリムを新設	文化財を核とした街づくりとして、徳川家の菩提寺・長保寺に憩いの広場を設置	町発祥のゲートゴルフを中心に各種イベントを展開。かじか荘に温泉棟をつくる	地域の各種団体を中心にボランティアを組織、町ぐるみの美化運動を推進	町の歴史や文化遺産の展示、文化活動奨励の拠点としてふるさと会館を建設

不思議 〔由良町〕
白い石灰岩の岩肌が独特の海岸美をつくりだしている白崎海岸。訪れたことのある方ならまるで別世界のような不思議な気分を誘われたことでしょう。

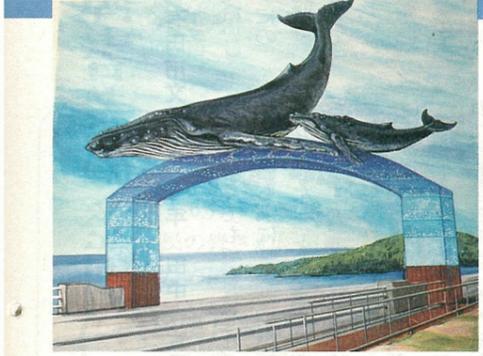


町の創生



いわれても「こと」とれる人も多
交付されま特色を生か業。県内の

(1つの団体で複数のふるさと創生事業を行っているところもありますが、紙面の都合上、代表的なもののみご紹介します)



クジラのアーチがお出迎え

〔太地町〕

クジラの町、太地町がふるさと創生事業の一つとして進めているのが実物大の模型を使った巨大なクジラアーチです。熊野灘の海を表現した青いタイル張りのアーチには、体長十五呎と七呎の親子クジラが尾をはねて元気に泳いでいます。このアーチは、国道四二号から同町に入る入口にまもなく完成予定で、「新しい町のシンボル」と期待が寄せられています。



町おこしへスマッシュ

〔日置川町〕

町で最も親しまれているスポーツ「テニス」をより一層盛んにしていこうと日置川町では老朽化したテニスコート場の整備を行いました。雨の後でもすぐ使えるようにと十二面のコートに人工芝を張りかえたほか、海の見えるおしゃれなクラブハウスも完成しています。このテニスコート場、京阪神の大学などから合宿に使いたいとの申込が殺到している

か。

紀中地方

空にそびえる昇り龍

〔龍神村〕

龍神村がその名にちなんで進めている「龍の里」づくり。この構想の何かシンボルになるものをと製作したのが写真の「龍のタワー」です。高さ十七丈、樹齢四百年のツガの木を使ったこのタワーの偉容は龍神村を力強くアピールするのに十分です。

この他、日本三美人湯に数えられる龍神温泉と他の二つの温泉地の友好を図ろうと「日本三美人湯サミット」を開催しています。



す。おいしさアップの「紀州の梅」に乞うご期待!

やったぞ! 温泉がわいた

〔湯浅町〕

ふるさと創生事業の中で、いくつかの市町村が取り組んでいるのが温泉開発です。これに取り組んでいた湯浅町では、山田山地区で見事温泉がわきだしました。同町ではこの温泉を利用して、千人が一度に入れる大露天風呂や温泉保養施設の建設に取りかかることにしています。

また、温泉掘削中にミネラルウォーターの水脈を偶然発見、びん詰めにして全国販売を行うと意欲的です。



21世紀をにらんだ梅づくり

〔南部川村〕

一億円事業をきっかけに地域の特産品の研究や販売にもっと力をいれていこうという団体もあります。日本一の梅どころ南部川村でもますます激しくなる産地間競争を勝ち抜くために「うめ21研究センター」を建設しました。ここでは主力の南高梅の栽培研究や新品種の改良、気象変化と梅の成長との関係など総合的な研究が行われています。



あなたのふるさと

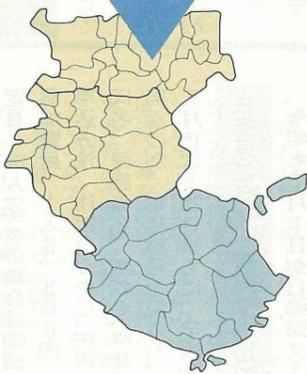
正式名称「自ら考え自ら行う地域づくり事業あまりピンときませんが「ふるさと創生1億円」といえば「ああ、あの全国的に話題になった」といのではないのでしょうか。

大きな町も小さな村もみんな一律1億円が匡す。従来の枠にとらわれず、自由な発想で、地元の街づくりを考えてみてください、というこの市町村でも住民からアイデアを募集したり、有識者の意見を聴いたりして、いろいろ工夫をこらした1億円の使い道を決定しました。

今月は県内50市町村のふるさと創生への取り組みを特集します。

有田市	御坊市	広川町	吉備町	金屋町	清水町	美浜町	日高町	川辺町	中津村	美山村	南部町	印南町
絵画展の開催や熊野古道の散策コースの整備、民謡や文化財の調査など	市民のために、クラシックやニューミュージックなどの音楽祭の開催	多目的グラウンドや南紀男山焼陶器展示館などを内容としたカルチャーパークを整備	展望台や休憩所等の設置による鷲ヶ峰コースモスパークの充実	生石高原で夜空の星を楽しんでもらおうと天体観測施設を建設	総合的なスポーツ公園・ふるさとふれあいの丘づくりとしみず温泉音頭の制作	町とつながりの深いカナダとホームステイを通して相互交流を推進	基金の運用益で、地域産業の振興や社会福祉の充実などに、より貢献できる人材の育成	「魅せたいまち基金」を設け、人材の育成や文化的資源の発掘、まちのPRなどの実施	雨天でもコンサートや食事が楽しめる多目的ホール「ふれあいドーム」を建設	村の真中にできたダム湖を観光の拠点として活用しようと温泉試掘を実施	イベント「梅とびつきり千里」への助成によって、地域のイメージアップの促進	人材育成等を目的に、「印南かえる基金」を設け、かえるシンポジウムなどを開催

紀南地方



可能性の極致・南方熊楠とともに

〔田辺市〕

世界的な植物学者、民俗学者として知られる南方熊楠。在野の立場で一生を研究に捧げた激しい生きざまが、今、全国的な「熊楠ブーム」を呼んでいます。

彼の研究の舞台となった田辺市では超人的ともいえる偉業を永く後世に伝えようと幅広い顕彰事業を展開しています。熊楠邸の保存や研究所の設置、世界の博物学者などに贈る「南方熊楠賞」の制定などで、田辺の熊楠を広くアピールしていきます。

新宮市	白浜町	中辺路町	大塔村	上富田町	すさみ町	串本町	那智勝浦町	古座町	古座川町	熊野川町	本宮町	北山村
徐福や佐藤春夫の顕彰事業と快適で緑豊かな街づくりをめざして緑化基金を創設	21世紀の人づくりを目的に旅費を町が負担して「世界見て歩き運動」を展開	熊野古道のシンボル、牛馬童子をあしらったモニュメントの建立	地域の活性化のため、時代をになう若者を後継者として養成する人材育成事業を実施	町民の心身の健康づくりや文化活動推進のため、施設建設等にむけての調査研究等	豊かな自然を生かした森林ランドの整備や童謡の園充実にむけての調査を実施	本州最南端の自然美を利用したりゾート開発にむけ、温泉掘削事業を実施	一億円事業を契機にもつとじつくりと町の将来を考えようと長期総合計画を策定等	近隣町村のふるさと産品なども集めた観光物産センターの建設を計画	清流古座川を財産にして地域づくりに活かそうと河川の浄化など周辺環境を整備	瀬峡など豊かな自然を活用した観光開発と住民福祉の向上を目的に温泉の掘削	熊野詣の行列風景などを再現した野外資料館的な歴史公園を整備	若者の定住促進のため基金を設け、結婚などの各種祝金や家賃の補助等を実施

〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

おしらせ

募集

シルバー囲碁・将棋大会

日時 7月3日 午前9時
場所 日赤会館(和歌山市)
対象 県内在住の60歳以上のアマチュア

申込方法 ハガキに住所、氏名、性別、年齢、生年月日、電話番号、参加種目を記入のうえ、6月19日までに〒640和歌山市小松原通1-1-11県いきいき長寿社会センター ☎(0734)2412141へ

くわしくは申込先へ

精神薄弱児者スポーツ大会

県内の精神薄弱児者の方の体力向上のため、スポーツ大会を開催します。

日時 9月8日 午前10時

場所 紀三井寺公園陸上競技場
申込 6月30日までに〒649-11日高郡由良町吹井10由良あかつき園内第2回県精神薄弱児者スポーツ大会実行委員会 ☎(0738)6511230へ

くわしくは申込先へ

水生生物による水質調査

川に棲む生物の生息状況をもとにした河川の水質調査に参加される方を募集します。

調査方法 県内の河川で、石に付着している虫を観察し、その種類と数から水質を調べ、記録用紙に記入します。

調査期間 6月1日～9月30日

工業統計調査広報用ポスター

製造業の実態を調査する工業統計調査の広報用ポスターを募集します。

形式 ①A2判(59cm×42cm)

を縦長に使用し、色は4色以内(白色は1色と数えない)②図案には「通商産業省」、「工業統計調査」、「平成3年12月31日」の文字を必ず記入③写真の使用は禁止

申込方法 作品の裏面に住所、氏名、電話番号、職業(学校、学年)を記入し、6月30日までに県庁統計課へ

くわしくは申込先へ

サマーボランティアスクール

将来のボランティアリーダーを育てようと2泊3日のスクーリングを県内15の福祉施設で開講します。

期間 7月23日～8月28日のうち3日間(開講日は各施設で異なります)

対象 中学生以上
定員 120人

申込方法 6月15日～22日までに県社会福祉協議会 ☎(0734)3212561へ

実施施設や日程などくわしくは申込先または県庁厚生保健課へ

生活教養講座(木曜教室)

暮らしに役立つ知識を身に付けていただきます。

期間 6月20日～8月29日の間の木曜日 午後1時30分～約2時間(8月15日は休み)

内容 食生活のあり方、被服の手入れ、生活と経済など10講座
場所 県消費生活センター(和歌山市)

申込方法 電話で県消費生活センター ☎(0734)3311551へ

くわしくは申込先へ

夏季労働セミナー

日時 6月19日～21日
講座 ①時短と労使の課題②人手不足の現状と中小企業の課題③これからの経済動向④職場の健康管理

場所・日時 ○美容会館(和歌山市)7月15日・22日、8月5日・19日、9月2日・9日

○田辺商工会議所(田辺市)7月29日、8月26日

最寄りの福祉事務所へ

くわしくは申込先へ

管理美容師資格認定講習会

申込方法 往復ハガキに住所、氏名、保護者名(同行の有無も)を募集します。対象は、視覚障害一級の身体障害者手帳を有する18歳以上の方ですが、一定の条件を満たすことが必要です。

夏だ!みんなで新・体験

せつかくの夏休み、何もしなかったではもったいない。今からどんどん計画して、いろんな体験をしよう。県では、元気な子供たちのために各種の催しを予定しています。きつと最高の夏休みになると思います。



自然とふれあおう 自然博物館教室

野外学習をおして、自然についての基礎知識を学びます。対象 小学5年生～中学3年生
定員 各コース10人(先着順)
申込方法 往復ハガキに、住所、氏名、保護者名(仰)、学校名、学年、電話番号、第1・第2希望コースを記入。〒642海南市船尾370番地の1、県立自然博物館 ☎(0734)8311777へ

コース名と場所	日程(予定)	参加費
①獲の生物を調べる(串本町の海岸)	7月25日(休)～30日(休)(合宿) 合計7日間	12,000円
②和歌浦湾の生き物を調べる(和歌山市田野周辺の海)	8月2日(休)～6日(休)(合宿) 合計6日間	15,000円
③昆虫の生態を調べる(新宮市高田周辺)	8月7日(休)～12日(休)(合宿) 合計7日間	15,000円
④野山の草木を調べる(新宮市高田周辺)	同上	同上
⑤池の生態を調べる(県立自然博物館と粉河町のため池)	8月19日(月)～23日(金)(合宿) 合計6日間	12,000円

対象 経営者、人事・労務担当者、労働組合関係者など
定員 70人(先着順)
場所 いこいの村わかやま(すさみ町周参見)

申込み方法 7月1日までに〒641和歌山市東高松4丁目1の24(日本理容美容協会和歌山県美容支部 ☎(0734)4712688)へ

くわしくは申込先へ

盲導犬の給付希望者

盲導犬の給付を希望される方を募集します。対象は、視覚障害一級の身体障害者手帳を有する18歳以上の方ですが、一定の条件を満たすことが必要です。

募集期間は8月31日までです。

くわしくは、各市町村役場、最寄りの福祉事務所へ

考えよう 知ろう 語ろう 北方領土

日時 7月15日・22日、8月5日・19日、9月2日・9日

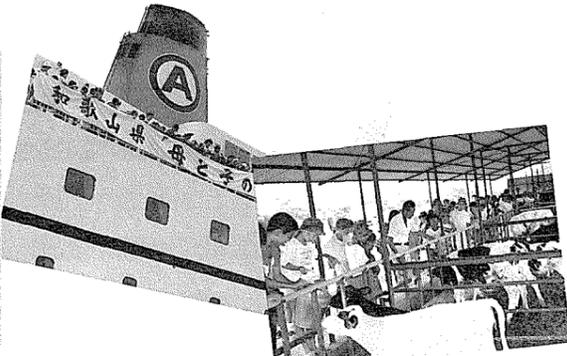
場所・日時 ○美容会館(和歌山市)7月15日・22日、8月5日・19日、9月2日・9日

○田辺商工会議所(田辺市)7月29日、8月26日

最寄りの福祉事務所へ

くわしくは申込先へ

緑と湖に親しむバス教室



緑と湖に親しむバス教室

自然とふれあいながら、森林と水資源のかかわりや河川、ダムなどの大切さを学びます。

日時 8月2日

対象 県内の小学4年～中学3年生とその保護者

定員 250人(先着順)

参加費 1人500円

内容 護摩壇山ワイルドライフのプナ自然林ハイキング、くわがた湖との遭遇体験などがた湖との遭遇体験などがた湖との遭遇体験などが

集合場所 ①和歌山市松江小学校②県庁正門前③海南市消防署前

申込方法 往復ハガキに、住所、氏名、保護者名(同行の有無も)を募集します。対象は、視覚障害一級の身体障害者手帳を有する18歳以上の方ですが、一定の条件を満たすことが必要です。

募集期間は8月31日までです。

くわしくは、各市町村役場、最寄りの福祉事務所へ

くわしくは申込先へ

牛さん・馬さんだ!い好き! まきばの一日体験学習

牛や馬とのふれ合いを通じて心の豊かさを育てよう。

日時 7月24日～25日(雨天の場合 7月25日～26日)の1泊2日

場所 黒沢牧場(海南市)

対象 県内の小学5～6年生(4人以内のグループ参加も可)

利用料金		
2時間以内	大人	300円
	子供(16歳未満)	150円
超過1つにつき	大人	300円
	子供(16歳未満)	80円

※各プール共通の回数券もあります。

開場日	時
秋葉山プール ☎0734-44-2361	7月1日～8月31日 午前10時～午後5時 ※7月15日～8月15日は午後6時まで
河西プール ☎0734-52-4411	7月1日～8月31日 午前10時～午後5時 ※7月15日～8月15日は午後6時まで
大新プール ☎0734-22-3302	7月1日～8月31日 毎週火曜日と7月7日、13日、24日、8月7日、11日、25日、30日は休み 正午～午後5時

潮風の中、友だちづくり 母と子の船

子供のしつけ、社会や家庭での女性の役割についても気軽に話し合ってください。

日時 7月24日～26日2泊3日

行先 宮崎県

内容 船内研修や宮崎県青島、子どものくいででの現地研修など

対象 県内の小学3年・4年生とその母親(父子家庭は父親)

定員 300組(600人)多数の場合

各県事務所民生課へ

くわしくは県庁青少年婦人課、各県事務所民生課へ

大冒険にチャレンジ きらりアドベンチャー大塔

大自然の中でチャレンジキャンプで、心の豊かさやたくましさを感じます。

期間 7月23日～8月2日 10泊11日

場所 西牟婁郡大塔村下川上

対象 小学5年～高校3年生

定員 60人(多数の場合抽選)

参加費 1人110,000円

申込方法 往復ハガキに住所、氏名、性別、学校名、学年、保護者氏名(仰)、電話番号を記入し6月21日までに各地方教育事務所(和歌山市内の方は、県社会教育課)へ

くわしくは申込先、大塔村教

日	程	内	容
1日目	出会いの日・オリエンテーション		
2日目～3日目	開拓の日・ベースキャンプ設営		
4日目	創作の日・木炭づくり		
5日目	冒険の旅・かもしか発見の旅・法師山頂		
6日目	百間山溪谷探勝		
7日目～8日目	チャレンジの日・いかだ作り・川下り		
9日目	友情の日・キャンプファイヤー		
10日目	感謝の日・ベースキャンプかたづけ		
11日目	旅立ちの日		

育委員会 ☎(0739)48-0734) 41-3721へ

301または県社会教育課 ☎(0734)41-3721へ

くわしくは申込先、大塔村教

育委員会 ☎(0739)48-0734) 41-3721へ

301または県社会教育課 ☎(0734)41-3721へ

お知らせ

要約筆記ボランティア教室

難聴者や中途失聴者のための要約筆記について、基本的な心得や実地の筆記を説明します。

日時 6月23日、7月28日、8月11日(午後2時～午後4時)
場所 身体障害者総合福祉会館
受講料 無料

申込締切 いずれの日も、その4日前

申込先 和歌山要約筆記会(0734)4515757、和歌山県身体障害者連盟(0734)2312665へ



文化講演会

日時 6月22日午後1時
場所 かつらぎ勤労者体育センター(かつらぎ町)

内容 評論家 俵朋子さんの講演 テーマ「地域社会ぐるみで子供を育てよう」(入場無料)
くわしくはかつらぎ町教育委員会(0736)2210300へ

献血の幅が広がりました

あなたの善意がより活かされるように献血の基準が変わりました。

内容 最高血圧90mmHg以上の方、

体重男性45kg・女性40kg以上の方に献血していただけます。

また、血漿成分献血の場合、献血量を体重別に選んでいただけます。

献血の輪がさらに広がるよう皆さんのご理解とご協力をお願いします。

特別児童扶養手当

20歳未満で精神または身体に中程度以上の障害のある在宅児童を養育している父母等に支給される手当です。

手当額(月額)

一級 44,900円
二級 29,930円

所得制限がありますので、くわしくは各市町村役場、各県事務所民生課、県庁障害福祉課へ

危険物取扱者、消防設備士のみなさんへ

危険物取扱者または消防設備士の免状をお持ちの方は、10年に1回の写真の貼り替えが必要です。

交付後10年以上経過した免状をお持ちの方は、お早めに更新手続きをください。

くわしくは和歌山市岡山丁36(消防試験研究センター)和歌山県支部(0734)2513369へ

事業所・商業統計調査

国や都道府県、市町村の行政施策の立案等に利用するため、事業所統計調査と商業統計調査を実施します。

6月下旬から調査員が訪問しますのでご協力ください。

内部障害者のバス運賃割引の範囲拡大

次のいずれかの身体障害者手帳を所持している方は、バス運賃が付添人共にそれぞれ割引されます。

障害名 心臓・じん臓・呼吸器・小腸の機能障害(3級・4級)

および、ぼうこう・直腸の機能障害(3級)

手続きは、身体障害者手帳を持参のうえ、各市町村役場へ

児童扶養手当

18歳未満のお子さん(障害のある場合は20歳)のある母子家庭や父が一定の障害の状態にある家庭に支給される手当です。

交付後10年以上経過した免状をお持ちの方は、お早めに更新手続きをください。

くわしくは和歌山市岡山丁36(消防試験研究センター)和歌山県支部(0734)2513369へ

当の請求はできません。

また所得や障害の程度により制限がありますので、くわしくは各市町村役場、各県事務所民生課、県庁児童家庭課へ

和歌山城で「たそがれコンサート」

たそがれのひとときに、県警察音楽隊のコンサートをお楽しみください。

日時 6月28日、7月12日・26日、8月9日・23日、9月6日
午後5時30分から約1時間
場所 和歌山城内一の橋付近

住宅を分譲します

○きびグリーンハイム(吉備町庄)
戸数 木造建て売り住宅1戸
譲渡予定価格 3,034万1千円

○新宮峰伏団地(新宮市峰伏)
戸数 プラン選択木造、プレハブ住宅20戸
譲渡予定価格 2,967万円
くわしくは県住宅供給公社(0734)2516885へ

人権擁護委員制度をご存知ですか
6月1日は人権擁護委員法が施行された日です。

あなたの町には市町村長から推薦されて、法務大臣が委嘱した人権擁護委員がいます。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

児童手当の手続きをお忘れなく
児童手当は、第二子以降の児童に対し、小学校に就学するまでの間支給されます。(ただし、所得制限があります)

現在、手当を受けている方は、6月30日までに児童手当現況届を忘れずに住所地の市町村役場へ提出してください。

くわしくは、県庁児童家庭課、各市町村役場へ

Uターン就職相談窓口を開設しました
和歌山県へのUターン就職を希望される方や家族の方にUターン就職の相談に応じます。

また、Uターン者の受入れを希望される企業の皆さんには、雇用に関する相談に応じます。

場所 (県外) 県東事務所(03)326511031・県大阪事務所(06)34115102各「きのくに人材センター」(県内)各公共職業安定所内人材Uターンコーナー

試験

砂利採取業務主任者試験

日時 7月31日 午前10時
場所 県民文化会館(和歌山市)
試験科目 筆記試験2時間
願書配布 県庁河川課、各土木事務所(6月10日から)
申込 6月17日～28日までに県庁河川課へ
くわしくは申込先へ

保母試験
日時 筆記Ⅱ8月6日・7日
実技Ⅱ(紀北)8月8日・9日
(紀南)8月5日

場所 紀北Ⅱ和歌山信愛女子短期大学附属高等学校(和歌山市) 紀南Ⅱ南都高校(南都町)

願書配布 各県事務所、各市町村役場
受付 郵送Ⅱ6月21日～7月1日まで 県庁児童家庭課 持参Ⅱ6月27日、28日 県民文化会館(和歌山市)へ

くわしくは県庁児童家庭課、各県事務所民生課へ

県職員採用上級試験
日時 7月14日
場所 星林高校(和歌山市)
試験区分 一般行政Ⅱ約30人、土木Ⅱ約7人、農学Ⅱ約5人、学校事務Ⅱ約10人、建築・農業工学・林学・水産・警察事務・獣医師・薬剤師Ⅱ若干人

受験資格 昭和37年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた方。農学職は農業改良普及員の資格取得者か平成4年3月31日までに取得見込みの方、獣医師・薬剤師は各免許取得者か来春実施の国家試験により取得見込みの方に限る。

点字受験 一般行政職については、点字での受験が可能です。申込書配布 県人事委員会事務局

局、各県事務所総務課、串本土木事務所等
受付 6月3日～6月17日まで
県人事委員会事務局
くわしくは受付先へ

調理師試験
日時 8月1日
場所 和歌山商業高校(和歌山市) 伊都高校(高野町) 御坊商工高校(御坊市) 田辺商業高校(田辺市) 新宮高校(新宮市)

願書配布 県庁健康対策課、各保健所
受付 6月24日～28日までに住所または勤務先を管轄する保健所

県警察官採用試験
日時 7月28日
場所 和歌山北高校(和歌山市) 田辺商業高校(田辺市)

試験区分 警察官AⅡ約10人
受験資格 昭和39年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた男子で、4年生大学の卒業者が平成4年3月31日までに卒業見込みの方

申込書配布 県人事委員会事務局、県警察本部警務課、各警察署
受付 6月18日～7月2日まで 県人事委員会事務局
くわしくは受付先へ

住宅資金融資
対象 厚生年金保険加入者
融資金額 1,880万円以内
返済期間 35年以内
くわしくは和歌山県年金住宅福祉協会(0734)2812400へ

融資など

「紀州のやきもの」展 開催中
紀州三大窯の名品を中心に近世紀州陶磁器の逸品100点を展示
場所 県立博物館(和歌山城公園内)
期間 9月23日まで

お気軽にどうぞ

交通事故相談

(常設相談) 月～土曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所
(弁護士による相談) ●県庁交通事故相談所 毎月第1、3月曜日 受付 午後1時～2時 ●東牟婁県事務所 毎月第1、3土曜日 受付 午前10時まで

(巡回相談) ●西牟婁県事務所 6月18日 ●伊都県事務所 6月26日 ●日高県事務所 7月2日 受付 午後3時まで

県民相談

(常設相談) 月～土曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所
(弁護士による法律相談) 毎月第2、4金曜日 受付 午前9時～11時 場所 県庁県民相談室
(移動相談) ●新宮市職業訓練センター 6月12日 ●清水町町民会館 6月18日 ●打田町古和田会館 7月10日 いずれも午後1時～4時

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山)

きのくに'91 金曜日 午後10時～
(再) 日曜日 午前11時～
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分～
県民チャンネル 月～土 午後8時55分～
はばたく紀の国 土曜日 午後6時～

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時30分～
県庁だより 月～日 午前11時40分～
(再) 月～金 午後5時40分～
(再) 土・日 午後6時～



愛は国境をこえた!

かわいい彼女の愛を求めて果敢にアタックする個性あふれる男性の面々。これは5月3日に行われたすさみ町のミニ独立国「イブ王国」の建国5周年祭(会場～すさみ海水浴場)の1コマです。この「お見合大作戦」には香川県のオリーブ王国や滋賀県の甲賀の里忍者村など各地のミニ独立国の王女が参加。彼女たちの愛を射とめようと約20人の若者がゲームやおしゃべりで猛烈に自己PR、見事、「国境」をこえた6組のカップルが誕生しました。

また建国祭恒例のイノブタダービーには激動する世界情勢を反映して「プッシュ」や「プセイン」という名前のイノブタも出場、趣好をこらしたアトラクションの数々が会場の爆笑をさそっていました。

(すさみ町)

いい湯に つかって おたっしやで



新設された特別養護老人ホーム「熊野本宮園(本宮町上大野)」の自慢は天然温泉。川湯温泉の近くということで、施設建設の際に掘削したところ地下五百メートルから温泉が湧き出しました。温泉を施設内に引き込んである老人ホームはこれまでもありましたが、自前の温泉は県内で初めてです。当園には、入所以外に通所も行えるデイ・サービスセンターも併設。緑豊かな自然の中で、天然温泉を使いながら、幅の広い老人介護に努めます。入所に関する問い合わせは、各福祉事務所、市町村役場へ。(本宮町)



かわやま 北南

キャンパスはてっかい壁



南方熊楠没後50年を記念して、NTT田辺支店に熊楠の壁画が登場。熊楠25歳の若き日のポートレートが約400枚の特殊プリントで再現されました。道行く人々は、縦9.5m、横9mの大壁画にびっくりです。植物学、粘菌学、民俗学…、外国での十余年にわたる学究活動のあと、田辺市に居をかまえ終生研究を続けた熊楠。半生を過ごした田辺の街並みを今、見つめています。

半生を過ごした田辺の街並みを今、見つめています。

こちらは、田辺バイパス下万呂交差点の地下道。延長80mの壁面に色鮮やかな壁画が描かれています。



壁画は、市立高雄中学校の美術クラブが中心となり、放課後や休日を利用して2年がかりで制作。動物や魚、童話の主人公など夢がいっぱいの壁画です。この地下道は、登下校する小中学生をはじめ、市民の方もよく利用するところ。とかく殺風景で、さびしい地下道も、ここでは楽しく通れます。(田辺市)

グラフわかやまけん “海” 発行

グラフわかやまけん第29号を発行しました。今回のテーマは「海」。普段私たちが何げなく接している海の意外な表情や、海にこだわり続ける人たちの話題など、約80点の写真を中心に紹介しています。ご希望の方は、郵送料(1冊分)として260円の郵便切手を同封のうえ県庁広報公聴課グラフわかやまけん係まで申し込んでください。部数に限りがありますので、1人1冊をお願いします。



海

那賀郡内六町のし尿処理業務を行っている那賀郡衛生センター(桃山町調月)に「水とみどり」と題のある運動公園が今月十四日からオープンします。ここでは快適な環境の中で、スポーツや散策を楽しんでもらおうとバラエティに富んだ施設が用意されています。一年中利用できる温水プールや滑り台つきのスライダープール、ゲートゴルフ場やイベント等が楽しめる多目的広場、緑地公園や日本庭園、またアスレチックルームやサウナのあるレストハウスなど家族そろってたっぷり一日過ごせます。那賀郡以外の方も気軽に利用くださいとのことです。くわしくは同センター☎(0736)661851へ。(桃山町)

新聞界の旋風児 杉村楚人冠



随筆集「七花八裂」。発刊後の売れ行きは好調で、著者の楚人冠も満足気だった。ところが大逆事件の關係者も愛読しているとの理由で、突然の発禁処分。怒った楚人冠は「何のへちまの皮」と改題してしまった。

杉村楚人冠、明治五年(一八七二年)和歌山市の生まれ。本名は広太郎。和歌山中学校に入学するが、校長の批判演説をして退学。後、上京してイギリス法律学校(現、中央大学)で苦学を続け、帰郷後は和歌山新報に入社。在勤一年余りで再上京し、米国公使館の翻訳官として勤めることとなった。

当時の公使館ではシルクハットの着用が常とされていた。楚人冠は自分の帽子に「楚人の冠」(「史記」からの引用)と書いた木札を付けて、公使館の習慣を茶化した。楚人冠の号は、ここから生まれている。

明治三十六年、東京朝日新聞入社。皇室の渡英取材した随記を発表。ユーモアと皮肉にあふれた文章は、従来の新聞記事にないユニークなもので、記者楚人冠の名は全国に広がった。その後は、我が国ではじめて新聞社に調査部や記事審査部を設け、またクラブ誌を創刊するなど新聞界の発展向上に努力。「最近新聞紙学」など著書のいくつかは、新聞記者のバイブルと言われた。昭和二十年、七十四歳で没。

あとがき

野山の緑が一層深まり、六月、梅雨の季節がやってきます。洗濯物が乾かず苦勞のお母さん、食中毒の多い季節でもあります。くれぐれもご用心を。

私たちが写真やテレビの取材に雨に泣かされることが多く、苦勞の多い季節です。とかく邪魔者扱いにされることの多い雨ですが、農作物や豊かな緑のためには無くてはならない雨です。

集中豪雨は困りものですが、私たちに大切な「うるおい」を与えてくれる雨。気持ちを切り替えて楽しみたいものです。

SHOKYUNO知識

シリーズ